

60GHz cnWave 無線機 V1000/V2000/V3000/V5000 リカバリモード操作手順

第5.0版

改版履歴

	日時	記事
初版	2022/7/11	
第2版	2023/8/29	Step4.6 に注意書きを追記
第3版	2023/11/24	P4 はじめに を更新 P15 Step4.9の操作を追加 P16 注1を更新
第4版	2024/3/21	P15誤記訂正
第5版	2025/1/9	V2000を追記

PCで以下の操作、確認を行います。

P4	:はじめに
P5～6	:Step1 準備
P7	:Step2 Ping連続打ちモードの設定方法
P8	:Step3 ブラウザの起動
P9～15	:Step4 ブラウザの履歴削除
P16	:Step5～8 電源OFF/ON後、Recovery modeを起動
P17～20	:Step9 Recovery modeでの作業
P21	:Step10 ログイン画面
P22	:Step11 ログイン後の画面
P23	:補足 LED表示

はじめに

本手順はV1000/V2000/V3000/V5000(以下”無線機”と呼びます)のRecovery modeの操作手順について記します。

Recovery modeはログインID, Password, IP address等を忘れてしまった時に初期値に戻せます。
作業後、ID, PasswordはDefault の”admin”に戻ります。
無線機のIP address はDefaultの169.254.1.1に戻ります。
作業により回線断を伴いますのでご注意ください。

本手順では無線機のIP address がDefaultと同じ169.254.1.1 に設定されていたものとして画面コピーを取得しております。

ブラウザはMicrosoft edge を例に示しております。他のブラウザでは画面表示、操作ツールが異なる場合があります。

お客様にてPoEをご用意の場合は1000BASE-T以上の物を推奨します。やむを得ず100BASE-TXの物をお使いの場合はAlternative A を推奨致します。Alternative Bではリカバリモードが正常起動しない場合があります。

- 1.PoEから無線機に給電し、PoEのData用PortからPCにLANケーブルを接続していることを確認します。
- 2.Software Version が1.2.1 以降であることを確認します。次項の画面を参照。
- 3.PCから無線機へ予めIP address:169.254.1.1 へ連続してPingを飛ばしておきます。Ping連続打ちの方法はStep2を参照。

Step1 (2) Software のVersion確認

60 GHz cnWave™ V1000

Disable E2E Controller Reboot admin

Dashboard

Links: 1 Total, 0 Online

Nodes: 2 Total, 1 Online

Sites: 2 Total

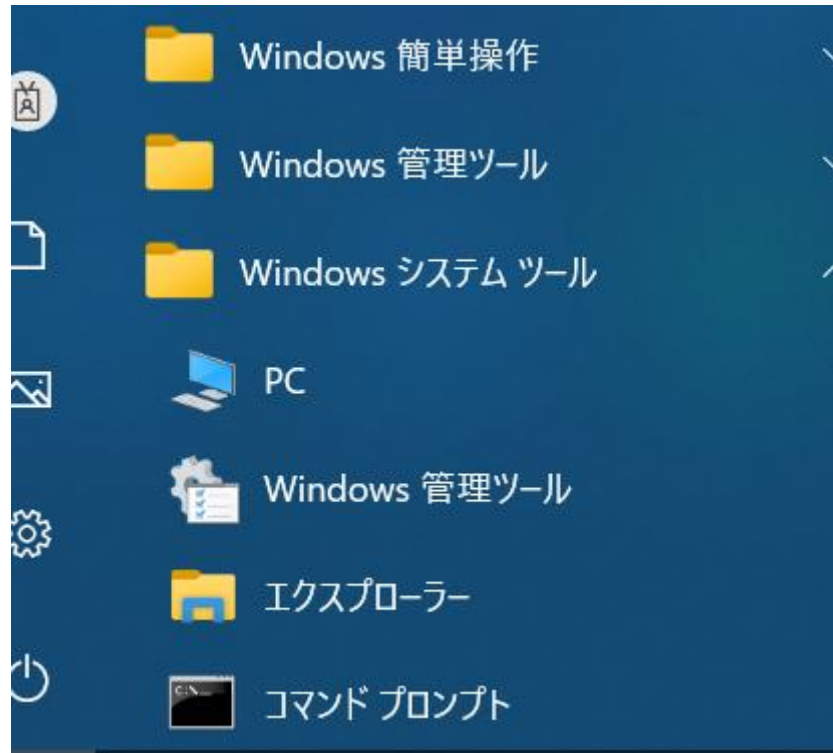
Wireless Throughput: 0 kbps RX, 0 kbps TX

Device Information	
Type	POP
Name	node-V1000-8b5ed4
E2E Controller	Running Onboard
cnMaestro Connection Status	Not Connected (Remote Management is disabled)
cnMaestro Account ID	
MAC Address	00:04:56:8B:5E:D4
Serial Number	V5XF017HTV2G
Model	V1000
Software Version	1.2.1
Firmware Version	10.11.0.87
Wireless Security	None
Layer 2 Bridge	Enabled (0 tunnels)
System Time	Feb 16, 2022, 10:29:50 AM
Uptime	0d 0h 5m

Map: Show Names: Yes No

ログイン後、Dashboardの画面で Software Versionが1.2.1 以降であることを確認します。

Step2 Ping連続打ちモードの設定方法



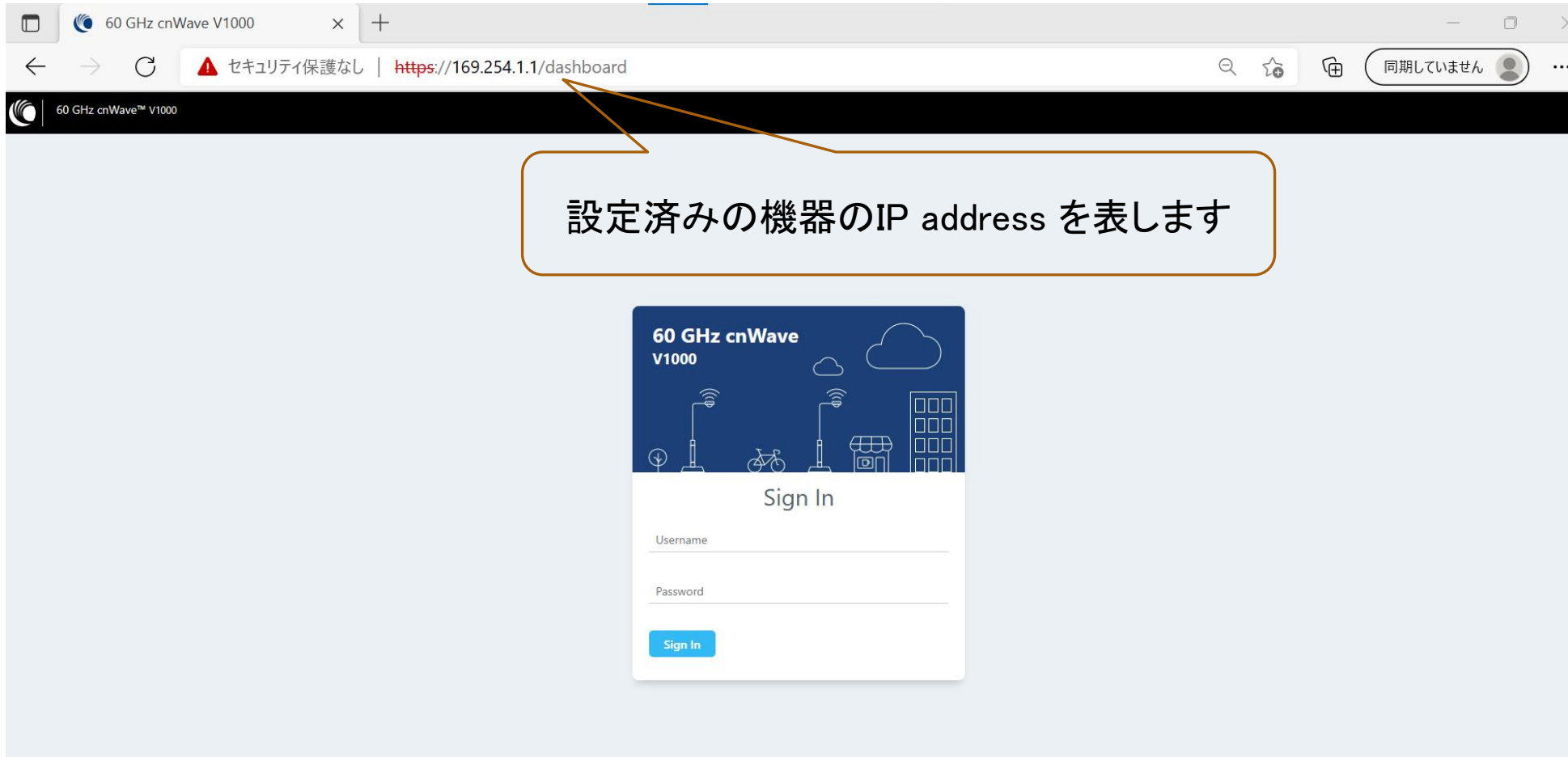
```
C:¥WINDOWS¥system32>ping 169.254.1.1 -t
169.254.1.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
```

ここでEnter Keyを押す

- 1.PCのコマンドプロンプトを起動します。Windows10ではWindowsシステムツールの配下にあります。
- 2.ターゲットとなる無線機のIPアドレスが169.254.1.1 の場合は ping [169.254.1.1] -t と入力しEnter Key を押すと、Ping連続打ちが開始します。 []は空白を意味します。
3. 疎通が成功すれば上右図の応答メッセージが現れます。

Step3 ブラウザの起動

3.PCのWebブラウザを立上げ、ブラウザで「<http://169.254.1.1>」へアクセスします。「<https://169.254.1.1>」や「169.254.1.1」は使わないで下さい。ブラウザがMicrosoft Edgeの場合、以下の画面が現れます。



Step4 (1) ブラウザの履歴削除

4.ブラウザの履歴を削除します。「https…」へアクセスした履歴があると、キャッシュが悪影響して「http://169.254.1.1」へのアクセスができずRecovery Modeが起動しない場合があります。削除方法はMicrosoft Edge の場合、以下の操作となります。

4.1 ここをClick



Step4 (2) ブラウザの履歴削除

60 GHz cnWave V1000

60 GHz cnWave™ V1000

セキュリティ保護なし | <https://169.254.1.1/dashboard>

60 GHz cnWave V1000

設定済みの機器のIP address を表します

60 GHz cnWave V1000

Sign In

Username

Password

Sign In

新しいタブ Ctrl+T

新しいウィンドウ Ctrl+N

新しい InPrivate ウィンドウ Ctrl+Shift+N

ズーム - 67% + ↗

お気に入り Ctrl+Shift+O

コレクション Ctrl+Shift+Y

履歴 Ctrl+H

ダウンロード Ctrl+J

アプリ >

拡張機能

パフォーマンス

アラートとヒント

印刷 Ctrl+P

Web キャプチャ Ctrl+Shift+S

共有

ページ内の検索 Ctrl+F

音声で読み上げる Ctrl+Shift+U

Internet Explorer モードで再読み込みする

その他のツール >

4.2 ここをClick

Step4 (3) ブラウザの履歴削除

60 GHz cnWave V1000

セキュリティ保護なし | <https://169.254.1.1/dashboard>

60 GHz cnWave™ V1000

60 GHz cnWave V1000

Sign In

Username

Password

Sign In

履歴

履歴の検索

すべて 最近閉じた項目 その他のデバイスのタブ

最近

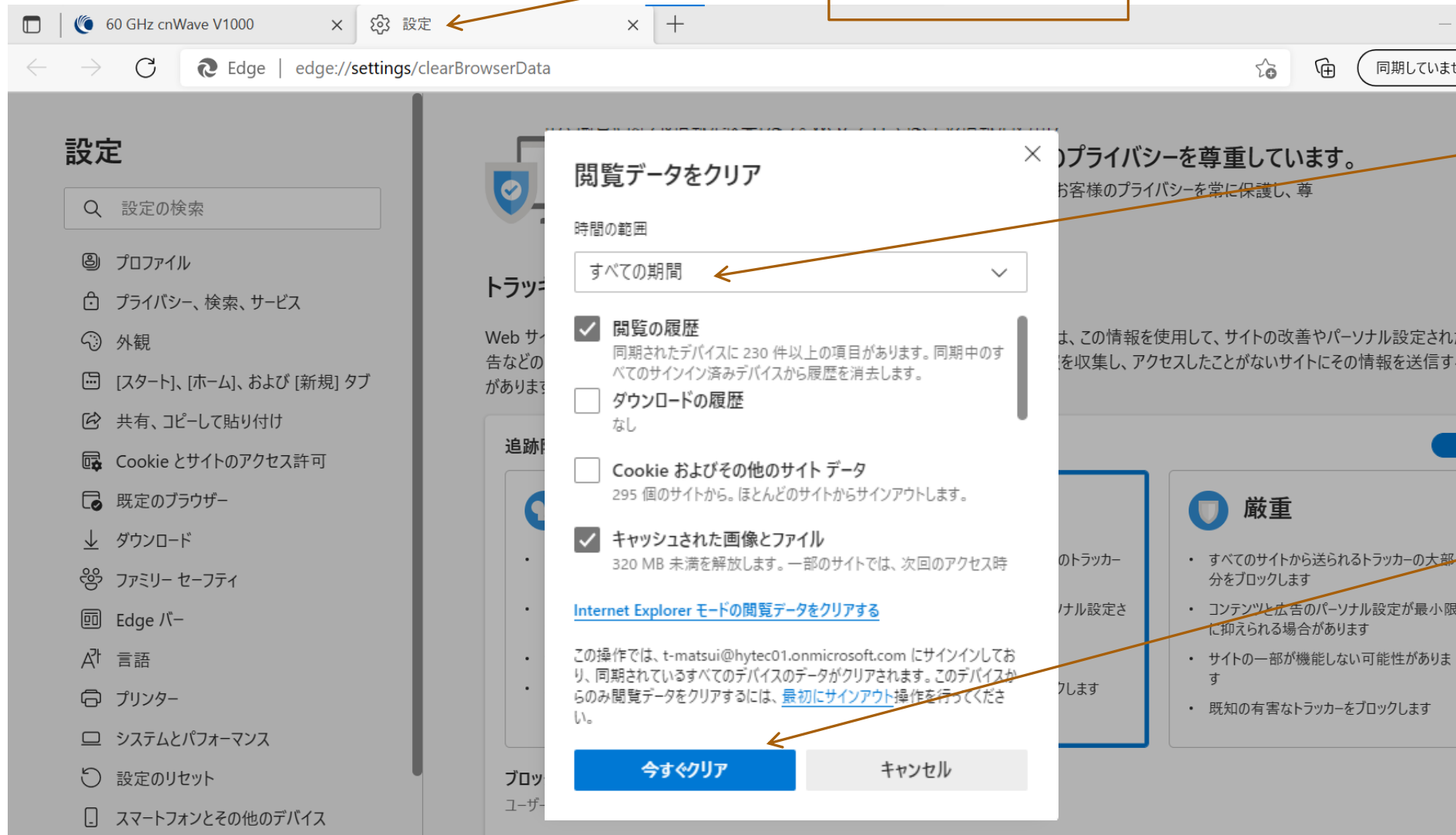
- 60 GHz cnWave V1000 14:33
- 昨日 - 2023年8月28日月曜日
- node-V3000-883840 - POP 16:52
- node-V1000-8b1158 - POP 16:52
- 60 GHz cnWave V1000 16:52
- 60 GHz cnWave V3000 16:27
- 60 GHz cnWave V3000 15:19
- node-V3000-8831fe - CN 14:35
- 60 GHz cnWave - CN 13:55
- 2 - 検索 13:26
- Cambium Networks: Device Recovery Console 13:23

4.3
ここをClick

設定済みの機器のIP address を表します

Step4 (4) ブラウザの履歴削除

4.4 “設定”の
TABが現れます



4.5 全ての期
間を選択

4.6 左画面の2項
目にチェックを入
れ、この2項目以
外は全てチェック
を外して下さい。
その後、“今すぐク
リア”をクリックしま
す。
クリック後は無線
機以外へのアクセ
スはしないで下さ
い。

Step4 (5) ブラウザの履歴削除

60 GHz cnWave - V1000 × 設定 × +

Edge | edge://settings/privacy

同期していません

設定

設定の検索

- プロフィール
- プライバシー、検索、サービス
- 外観
- [スタート]、[ホーム]、および [新規] タブ
- 共有、コピーして貼り付け
- Cookie とサイトのアクセス許可
- 既定のブラウザー
- ダウンロード
- ファミリー セーフティ
- Edge バー
- 言語
- プリンター
- システムとパフォーマンス
- 設定のリセット
- スマートフォンとその他のデバイス

弊社では、お客様が必要とする透明性と制御を提供して、お客様のプライバシーを常に保護し、尊重します。 [プライバシーに対する取り組みについての詳細](#)

トラッキングの防止

Web サイトでは、トラッカーを使用して閲覧に関する情報を収集します。Web サイトでは、この情報を使用して、サイトの改善やパーソナル設定された広告などのコンテンツの表示を行う場合があります。一部のトラッカーでは、ユーザーの情報を収集し、アクセスしたことがないサイトにその情報を送信することがあります。

追跡防止

基本

- すべてのサイトでほとんどのトラッカーを許可する
- コンテンツと広告がパーソナル設定される可能性があります
- サイトは適切に機能します
- 既知の有害なトラッカーをブロックします

バランス
(推奨)

- アクセスしたことがないサイトからのトラッカーをブロックします
- コンテンツと広告はほとんどパーソナル設定されない可能性があります
- サイトは適切に機能します
- 既知の有害なトラッカーをブロックします

厳重

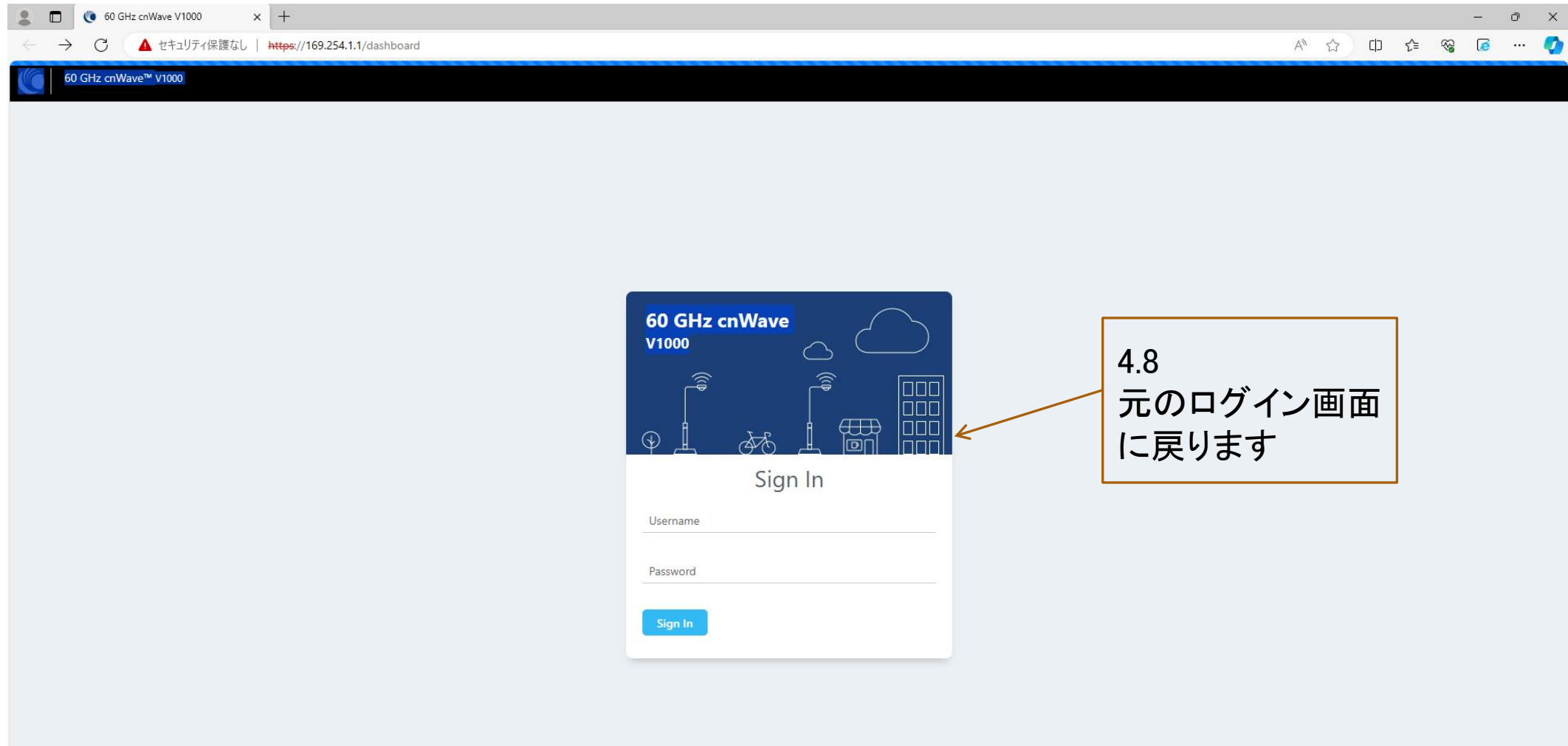
- すべてのサイトから送られるトラッカーの大部分をブロックします
- コンテンツと広告のパーソナル設定が最小限に抑えられる場合があります
- サイトの一部が機能しない可能性があります
- 既知の有害なトラッカーをブロックします

ブロックされたトラッカー >
ユーザーの追跡がブロックされているサイトを表示する

例外 >
選択したサイトですべてのトラッカーを許可する

4.7
Xをクリックして”設定”
のTABを消します

Step4 (6) ブラウザの履歴削除



Step4 (7) ブラウザの履歴削除

4.9
設定済みの機器のIP address が表示されますが
ここで「**http://169.254.1.1**」と入れ直します。
カーソルは末尾の1のすぐ右においたままアクセ
スは未だ行わないで下さい、アクセスはStep7で
行います。
以下の表示のままではリカバリモードが正常に
起動しない場合があります。
「169.254.1.1」
「https://169.254.1.1」
~~「https://169.254.1.1」~~

カーソルはこの位
置でスタンバイ

60 GHz cnWave
V1000

Sign In

Username

Password

Sign In

Step5～8 電源OFF/ON後、Recovery modeを起動

- 5.無線機の電源をOFFにするためPoEのACコンセントを抜き、5秒以内にONにして復旧させます。
6. Recovery mode が起動するとPCから無線機のDefaultのIP address 169.254.1.1 へPingが疎通可になります。
7. Step4.9で準備した「<http://169.254.1.1>」へアクセスします。無線機のIP address が169.254.1.1以外に設定済みであってもDefaultの「<http://169.254.1.1>」へアクセスして下さい。
- 8.PCにRecovery mode の画面が表示されます。次ページ参照。

注1: Step8でPing疎通状態でPCがRecovery modeの画面に遷移しない場合は、「<http://169.254.1.1>」と再入力してアクセスして下さい。「169.254.1.1」、「<https://169.254.1.1>」、~~「<https://169.254.1.1>」~~のままではリカバリモードが正常に起動しない場合があります。正常起動しない場合は60秒以内にStep4.1からやり直して下さい。Recovery mode は約60秒間しか起動しないので、その間に作業を終えない場合、本modeが終了して元のStep3の画面に戻ります。機器のIP addressも元の設定に戻ります。本モードを再度起動する場合はStep3からやり直して下さい。

尚、本mode起動中はP23に示すようにLED2個が赤く点灯しますが、本modeが終了するとこのLED表示が解除されますのでこれもmode状態の目安になります。

注2:本手順の画面はSoftware Ver1.2.1以降の場合です。Ver.1.2以前の場合は販売店にお問い合わせ下さい。

Step9 (1) Recovery mode での作業

The screenshot shows the Cambium Networks Device Recovery Console. The browser address bar displays the IP address 169.254.1.1. The interface includes a 'Normal boot in 19 seconds' timer, a 'General' tab, and a 'Device Recovery Console' section with the following details:

- MAC Address : 00:04:56:8b:11:58
- System-configured IPv4 Address : 169.254.1.1

The 'Boot Type Selection' section has two buttons: 'Boot - Recovery Safe Boot' and 'Boot - Normal'. Below this is the 'Factory Reset (followed by Normal Boot)' section, which includes a red warning: 'This CANNOT be undone.' and a 'Factory Reset' button. The 'FTP load and program image' section has fields for 'FTP Server IP' (169.254.1.100) and 'FTP filename' (cnwave60ghz-v1000-upgrd.img), with an 'Upgrade - TFTP' button. The 'HTTP load and program image' section has a file selection button and an 'Upload and Program' button. The 'Device Information' section shows:

- Software Version : cnwave60ghz-v1000 cnwave60ghz/rel/1.2.1/2
- IP : 169.254.1.1
- Netmask : 255.255.0.0
- Gateway : 169.254.1.254

The 'Backup Recovery' section has a 'Choose File' dropdown with three options:

- 1 cnwave60ghz-v1000 cnwave60ghz/rel/1.2/1
- 2 cnwave60ghz-v1000 cnwave60ghz/rel/1.2.1/2
- 0 cnwave60ghz-v1000 cnwave60ghz/rel/1.1/1

Annotations in Japanese:

- A callout box points to the IP address in the browser bar: "Defaultの機器IP address を表します".
- A callout box points to the 'System-configured IPv4 Address' field: "今まで使っていたIP address を表します".
- A callout box points to the 'Factory Reset' button: "9.1 ここをクリック".
- A large callout box on the left contains the text: "Recovery modeの残り時間を表示。残り時間が無くなる前に右の作業を行います。間に合わない場合はStep3からやり無します。".

Step9 (2) Recovery mode での作業

169.254.1.1 の内容
This will erase all configuration on the Unit. It cannot be undone.
Continue?

OK キャンセル

Device Recovery Console
MAC Address : 00:04:56:8b:11:58
System-configured IPv4 Address : 169.254.1.1

Boot Type Selection

Boot - Recovery Safe Boot
Boot - Normal

Factory Reset (followed by Normal Boot)

This CANNOT be undone.

Factory Reset

TFTP load and program image

TFTP Server IP : 169.254.1.100
TFTP Filename : cnwave60ghz-v1000-upgrd.img
Upgrade - TFTP

HTTP load and program image

HTTP filename : ファイルの選択 ファイルが選択されていません
Upload and Program

Device Information

Software Version : cnwave60ghz-v1000 cnwave60ghz/rel/1.2.1/2
IP : 169.254.1.1
Netmask : 255.255.0.0
Gateway : 169.254.1.254

Backup Recovery

Choose File :

- 1 cnwave60ghz-v1000 cnwave60ghz/rel/1.2/1
- 2 cnwave60ghz-v1000 cnwave60ghz/rel/1.2.1/2
- 0 cnwave60ghz-v1000 cnwave60ghz/rel/1.1/1

9.2 ここをクリック

Step9 (3) Recovery mode での作業

Step9 (4) Recovery mode での作業

Defaultの機器IP address を表します

この画面に遷移します。DefaultのIP address 169.254.1.1 へのPing疎通まで約2~10分待ちます。疎通したらブラウザ画面を更新します。



The screenshot shows a web browser window with the URL `169.254.1.1/factoryresetradio.htm?boottype=recoveryfactoryreset`. The page content includes the Cambium Networks logo, a 'BOOT IN PROGRESS' status, and a 'General' tab. The main content area displays 'Device Recovery Console' with the following information: 'MAC Address : 00:04:56:8b:11:58' and 'System-configured IPv4 Address : 169.254.1.1'. A 'Booting' section shows 'Boot type: Recovery Factory Reset', 'Factory Reset successful', and 'Please wait while the radio boots'. Two callout boxes are present: one pointing to the IP address '169.254.1.1' in the URL and another pointing to the 'System-configured IPv4 Address : 169.254.1.1' line.

今まで使っていたIP address を表します

Step10. ログイン画面

Defaultの機器IP address に戻ったことを示します

この画面に遷移します。
admin, admin
でログインします。

Step11. ログイン後の画面

Defaultの機器IP address を表します

The screenshot shows the dashboard for a 60 GHz cnWave V1000 device. The browser address bar shows the URL <https://169.254.1.1/dashboard>. The dashboard includes several summary cards and detailed tables.

Summary Cards:

- Uptime:** 0d 0h 0m
- Links:** 1 Total Sector(s), 0 Total Link(s)
- Channels:** 1 Sector 1
- Wireless Throughput:** 0 kbps RX, 0 kbps TX

Device Information Table:

Device Information	
Type	CN
Name	-
E2E Connection Status	Not Connected
MAC Address	00:04:56:8B:11:58
Serial Number	V5XB01JBXB8S
Model	V1000
Software Version	1.2.1
Firmware Version	10.11.0.87
Wireless Security	None
Layer 2 Bridge	Disabled
System Time	Feb 16, 2022, 10:22:26 AM

Sectors Table:

Sectors	
Channel	1 (Auto)
Sync Mode	RF
MAC Address	12:04:56:8b:11:58
Active Links	0
RX Throughput	0 kbps
TX Throughput	0 kbps

Ethernet Table:

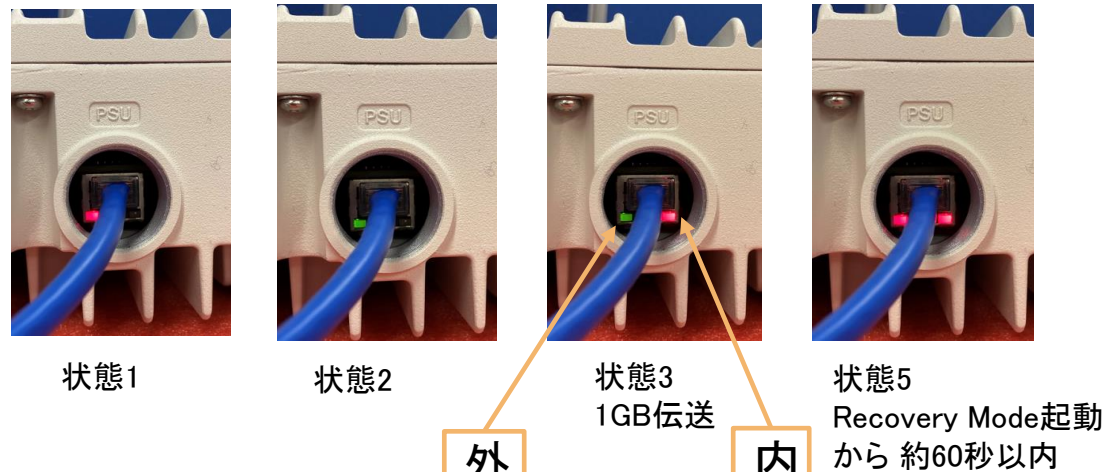
Ethernet	
Status	1000 Mbps
RX Packets	315
TX Packets	110
RX Throughput	0 kbps
TX Throughput	0 kbps

この画面に遷移します。
Config.等、必要な設定
を行います。

補足 cnWave 60GHz LED表示

		V3000/V5000 2.5GB以上 V2000 2.5GB V1000 1GB	V2000/V3000/V5000 1GB以下 V1000 100MB以下
		外側 LED	内側LED
1	電源ON直後	赤	消灯
2	電源ON約1分後	緑	消灯
3	電源ON約2分後 Ping 開通	緑	赤
4	Reboot, Factory Reset	LEDは上記1→2→3 と遷移	
5	Recovery Mode	電源OFF後5秒以内にON。Recovery Modeが起動し、内側と外側のLEDが両方赤に点灯。この状態は約60秒継続。60秒以上何も操作しないと、LEDは上記1→2→3 と遷移し、元の状態に戻る。	

V5000のLED (V2000/V3000も同様)



外側

内側

V1000のLED

